

図書館 蔵書一覧

図書館は女性センターのオープンと同時に国内でも数少ない女性問題専門の図書館として開館しました。

現在約10万冊の蔵書があり、初代労働省婦人少年局長の山川菊栄文庫や国労婦人部資料など希少価値の高い資料も数多く所蔵しています。

(2014年10月1日現在)

	分類	冊 数	比 率	主な内容
1	女性問題	12,371	12.5%	男女共同参画、DV、女性学
2	女性史	4,993	5.0%	女性史
3	伝記	4,969	5.0%	叢伝(3人以上の伝記)、個人伝記
4	女性労働	8,269	8.3%	女性労働一般、キャリアアップ、育休
5	労働	5,152	5.2%	労働一般、ワークライフバランス(労働者の視点から)
6	家族	1,767	1.8%	家族問題、家族心理学(母と娘の問題など)
7	社会	8,874	8.9%	社会学、夫婦問題、結婚問題、性問題、メディアリテラシー
8	社会福祉	2,979	3.0%	社会福祉一般、児童福祉、女性福祉
9	医学	3,895	3.9%	医学一般
10	生活・家事	5,071	5.1%	生活、家事一般
11	教育	7,026	7.1%	教育学、教育心理学、女子教育
12	哲学・心理学・宗教	2,872	2.9%	哲学、心理学、女性心理
13	風俗習慣・民俗学	2,308	2.3%	女性に関する習俗・風俗
14	総記	2,178	2.2%	図書館、書誌学
15	政治	5,313	5.4%	政治一般、女性政策
16	法律・経済・統計	3,041	3.1%	法律・経済・統計一般
17	自然科学・技術・産業	1,838	1.9%	自然科学・技術・産業一般
18	芸術・言語・文学	13,438	13.5%	芸術、言語、文学
19	参考図書	2,897	2.9%	
合 計		99,251		

※山川菊栄文庫含む。

山川菊栄文庫について



婦人図書館

「山川菊栄文庫」を開設

女性運動の歴史を刻む

当センターがオープンしてまる6年、婦人図書館も草創期を過ぎ、資料的にも充実・拡大の時期を迎えていると言えます。女性労働資料の収集を中心として、蔵書冊数も5万冊を越え、この11月の「女のフェスティバル'88」には、当センター一年来の目標のひとつ「山川菊栄文庫」を開設いたしました。

その内容のあらましを――。

山川菊栄氏のプロフィール

山川菊栄氏は戦前・戦後を通じての女性運動の理論面の指導者として、多くの著作・翻訳・論文を残され、戦後は昭和二十二年九月に発足した労働省婦人少年局の初代局長、鎌倉の材木屋と稲村ガ崎、特に藤沢の村岡に四十年余も住まれ、当センター婦人図書館の資料収集委員会の名譽会長としてご尽力いただきました。

図書資料展「山川菊栄のあゆみを追って」

十一月四日から十三日まで、婦人図書館では「山川菊栄文庫」の開設を記念して、図書資料展を開催しました。文庫は現在、和書七百七十二冊、洋書四百八冊、文献コピー（雑誌・新聞などの論文コピー）約一千タイトル、雑誌二十六誌、新聞六十五紙、目録稿も作成しました。山川均・菊栄夫妻の長男・振作氏をはじめ関係者にご協力頂いて今後もこの文庫をさらに充実させてまいります。

文庫の中にはこんな資料が

- 「婦人の勝利」(大正八年刊 最初の著書)
 - 米国婦人局資料
 - 平塚らいてうと与謝野晶子の一連の母性保護論争に関する雑誌論文等(特に大正七年九月号の「婦人公論」誌上「母性保護と経済的独立」により論壇の地位確立)
 - 「ベール婦人論」(大正十二年刊)
 - 「婦女新聞」「番紅花」「世界」ほか雑誌・新聞論文多数
 - 写真——菊栄氏幼女時代からの家族写真、渡英の際のものなど、当時としてはめずらしい位の写真の量であり、いわば「眼で見る山川菊栄の軌跡」の感があります。
- また、文庫に納めたもののほか、資料展では、山川振作氏、向坂ゆき氏、鈴木裕子氏、法政大学大原社会問題研究所、県立図書館、横浜市図書館、藤沢市総合市民図書館からのご協力を得、貴重な資料百五十六点をお借りし、多数の方々にご覧いただき、好評でした。

山川菊栄氏の文章は歯切れがよく、びりっとしており、読む者に小気味よさを与えます。

例えば、大正七年の「山川帝大総長の女性観」と題する論文の最後は、女子を目して家庭の奴隷とし、兵士の製出機とし、人民を見るに砲丸をもって

するがごとき人物に主宰せらるるの間は、我が最高学府はいつまでも、官僚の士官学校たる大任を全うし得べきである」と痛烈に結んでいるなども、その一例でしょう。

「山川菊栄文庫」の開設は、各新聞誌上でも大きく報道されました。この文庫が、研究者のみでなく、広く利用されることを願っています。



図書資料展
「山川菊栄のあゆみを追って」



(1988年 婦人総合センターだより No. 36 より抜粋)

「山川菊栄文庫」主要所蔵図書一覧

2014年10月1日現在

★ 山川菊栄の編著作物、活動に関連した図書			
書 名	編 著 者	出 版 者	刊年
山川菊栄集 全10巻+別1	山川菊栄著/田中寿美子・山川振作編	岩波書店	1981～1982
山川菊栄 女性解放論集 全3巻	山川菊栄著 鈴木裕子編	岩波書店	1984
山川菊栄評論集	鈴木裕子	岩波書店	1990
婦人の勝利	山川菊栄	日本評論社出版部	1919
現代生活と婦人	山川菊栄	叢文閣	1919
女性の反逆	山川菊栄	三徳社	1922
黎明期のロシア	山川菊栄	総文館	1923
リープクネヒトとルクゼンブルグ (1926年1月上西書店発行の復刻版)	山川菊栄	ローザ・ルクセンブルグ研究国際協会	1991
婦人問題と婦人運動	山川菊栄	文化学会出版部	1925
女性五十講	山川菊栄	改造社	1933
評論集 婦人と世相	山川菊栄	北斗書房	1937
女は働いてゐる	山川菊栄	育生社	1940
武家の女性	山川菊栄	三國書房	1943
わが住む村	山川菊栄	三國書房	1943
日本の民主化と女性	山川菊栄	三興書林	1947
明日の女性のために	山川菊栄	鱒書房	1947
女二代の記	山川菊栄	日本評論新社	1956
婦人のあゆみ 全面改定版	山川菊栄	労働大学	1968
おんな二代の記 1956刊行の増補	山川菊栄	平凡社	1972
覚書 幕末の水戸藩	山川菊栄	岩波書店	1974
女性解放へ ―社会主義婦人運動論	山川菊栄	日本婦人会議中央本部出版部	1977
二十世紀をあゆむ ―ある女の足あと	山川菊栄	大和書房	1978
日本婦人運動小史	山川菊栄	大和書房	1979
★ 翻訳 (山川菊栄訳)			
婦人論 ―婦人の過去・現在・未来	オーギュスト・ペーベル	アルス	1923
社会進化と婦人の地位	フリップ・ラッパポート	吉田書店	1924
恋愛論 初訳は1911年刊	エドワード・カーペンター	三興書林	1946
恐怖に代えて	A. ベヴァン	岩波書店	1953
★ 山川菊栄の生涯、業績を記した図書―山川菊栄を単独で扱った図書―			
山川菊栄の航跡 ―「私の運動史」と著作目録	外崎光広・岡部雅子	ドメス出版	1979
不屈の女性 ―山川菊栄の後半生	菅谷直子	海燕書房	1988
山川菊栄 人と思 戦前篇 / 戦後篇	鈴木裕子	労働大学	1989～1990
現代フェミニズムと山川菊栄 ―連続講座「山川菊栄と現代」の記録	山川菊栄生誕百年を記念する会	大和書房	1990
連続学習会「いま山川菊栄を読む」 ―山川菊栄 生誕110年・没後20年	山川菊栄記念会	山川菊栄記念会	[2001]
戦争と山川菊栄 ―女性解放論の歴史的展開 (横浜市立大学大学院院生論集 社会科学系列 第10号 抜刷)	伊藤道子	横浜市立大学	2004
来しかたに想う ―山川菊栄に出会って―	菅谷直子	『来しかたに想う―山川菊栄に出会って―』編集室	2005
自由に考え、自由に学ぶ ―山川菊栄の生涯	鈴木裕子	労働大学	2006
山川菊栄と過ごして	岡部雅子	ドメス出版	2008

※女性センター図書館には、上記の他、山川菊栄の伝記(列伝)、雑誌等全4,022冊を所蔵しています。